

elysia



nvelope 500





Welcome to the world of impulse shaping!

nvelope 500は、アタックとサステインの特性をコントロールすることで、サウンドに微妙な変化や劇的な変化を与えることができます。これは、個々のトーンを再形成するのに非常に便利であり、あらゆるミキシング状況でも素晴らしいツールです。

nvelope 500は信号の特定のレベルとは無関係に動作し、(コンプレッサーとは異なり)複雑なコントロールのセットのバランスをとるのに多くの時間を費やす必要がなく、求める結果をすばやく得ることができます。

独自のデュアルバンドモードを備えたnvelope 500は、処理の制御を強化し、複雑なプログラム素材を簡単に処理できます。ダイナミクスセクションをバイパスして、フレキシブルなハイ/ローシェルフEQとして機能させることもできます。

nvelope 500は、フルレンジ、デュアルバンド、EQモードのいずれで使用していても、真のデュアルモノまたはリンクステレオ操作を提供します。

Compatibility	3
Installation	3
Controls	4
Connectors	6
The Magic	7
Full Range Mode	8
Dual Band Mode	9
EQ Mode	10
Mixed Mode	11
Appendix.....	12

 Deutsches Handbuch ... 16

 Manuel Français ... 30

Compatibility

nvelope 500モジュールは、API 500シリーズ互換のラックフレーム（別売り）にインストールする必要があります。このフレームが提供する電源とオーディオコネクタが必要であり、それだけでは本来の目的に使用できません。

消費電流は200ミリアンペア（100 mA / スロット） \pm 16ボルトDC。これは、nvelope 500のオーディオパスのディスクリートクラスA設計の結果として、他の一部の500シリーズモジュールが実際に消費する量を超えています。

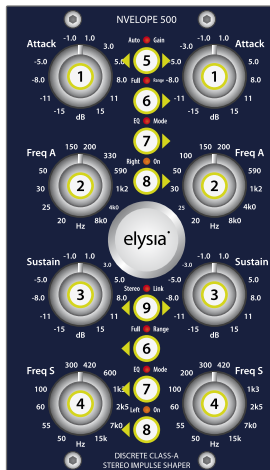
ほとんどのAPI 500互換ラックは問題なくこの要件を満たしますが1つのラックにインストールできるユニット数には制限がある場合があります。疑問がある場合は、特定のラックの製造元に確認してください。

Installation

以下の簡単な手順に従って、nvelope 500モジュールをインストールします。

1. API 500シリーズ互換ラックの電源を切り、電源ケーブルを電源から外します。
2. モジュールをラックの2つの空きスロットに挿入します。両方のPCBコネクタがラックコネクタと一致していることを確認してください。
3. モジュールを所定の位置にそっと押し込みます。力を入れすぎないでください。
4. 付属の4本のネジでフロントパネルを締めます。
ラックメーカー。
5. XLRオーディオケーブルを接続し（詳細については6ページを参照）、ラックの電源を入れます。

それでうまくいくはずですよ。nvelope 500でたくさんの楽しみを！



Controls

① Attack

•フルレンジおよびデュアルバンドモード:

信号の攻撃を上げたり減らしたりします

•EQモード:

高域をブーストまたはカットします

② Frequency Attack (Freq A)

•フルレンジモード:

アタック処理の応答動作を変更します

•デュアルバンドモード:

アタック処理の開始頻度を設定します

•EQモード:

ハイシェルフフィルターの周波数を設定します

③ Sustain

•フルレンジおよびデュアルバンドモード:

信号のサステーンを上げたり減らしたりします

•EQモード:

低域をブーストまたはカットします

④ Frequency Sustain (Freq S)

•フルレンジモード:

このモードでは機能なし

•デュアルバンドモード:

サステイン処理の終了周波数を設定します

•EQモード:

ローシェルフフィルターの周波数を設定します

⑤ Auto Gain

フルレンジモードでレベルのピークを低減します

⑥ Full Range

デュアルバンドからフルレンジ動作に切り替え

⑦ EQ Mode

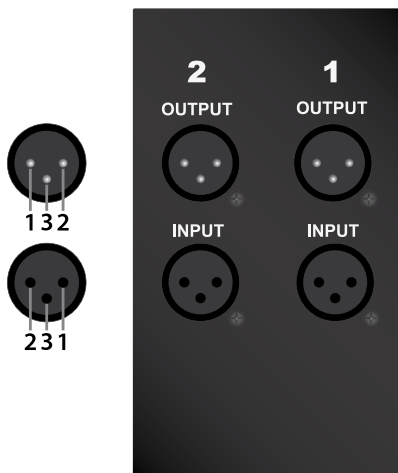
エンベロープ処理からEQ機能に切り替え

⑧ On (Left/Right)

チャンネルをアクティブにするか、ハードワイヤーバイパスに切り替えます

⑨ Stereo Link

ステレオソースを処理するために両方のチャンネルをリンクします(左のコントローラーと下のスイッチが両方のチャンネルのマスターになります)



Connectors

オーディオ出力 (+4 dBu)

ピン配列 バランス: 1 ground 2 hot (+) 3 ground

ピン配列 アンバランス: 1 ground 2 hot (+) 3 idle

オーディオ入力(+4 dBu)

ピン配列 バランス: 1 ground 2 hot (+) 3 cold (-)

ピン配列 アンバランス: 1 ground 2 hot (+) 3 ground

モノ操作: シングルまたはデュアルモノチャンネルで使用するには
入力ペア1と出力ペア1のどちらかまたは両方を接続します。

ステレオ操作: 入力と出力1と2の両方を接続します。どちらのチャンネルを使用するか、どちらを使用するかは、お客様次第です。

The Magic



nvelope 500は、そのインパルス構造を変更することでサウンドの特性を変更できるダイナミクスプロセッサです。信号のアタックとサステイン強度を調整することにより、信号のエンベロープを直接制御できます。

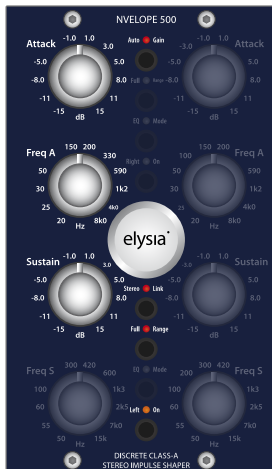
より具体的には、ドラムセット（または個々のドラム）は、アタックを強調することで、よりアグレッシブでパンチのあるサウンドを作ることができます。または、すでにアグレッシブすぎるトーンを簡単にタイムすることができます。

他の有用なアプリケーションは、ピックまたはスラップされたベース、エッジの効いたギター、またはあらゆる種類のピアノ録音です。一般的に言って、nvelope 500は重要な/パーカッシブなアタック構造を持つオーディオ信号に対して最適に機能します。

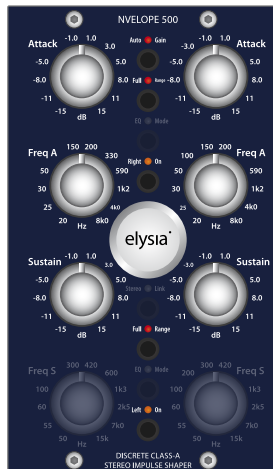
アタックシェーピングのバランスとして、サステインパラメーターは部屋のサウンドとスペースを制御します。インストゥルメントまたはリバーブテールは、サステインを減らすことでよりタイトに聞こえ、深めることができます。シグナルを増やすと、信号音を長くすることができます。

nvelope 500は個々の信号を整形するための優れたツールですが、アタックとサステインを抑えてサウンドをフロントに持ち込むことや、穏やかにサウンドをブレンドすることで、ミキシング状況においても不可欠なリソースとなる可能性があります。その攻撃を減らし、その持続を増やすことによって背景。

nvelope 500のユニークな機能は、デュアルバンドモードで提供される拡張された微調整性です。アタックとサステインの個々の周波数制御は、加算バスのような複雑な素材で利用された場合でも、不要なアーティファクトのない優れた処理結果をもたらします。



Linked Full Range



Unlinked Full Range

Full Range Mode

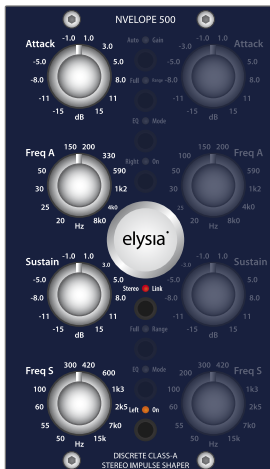


フルレンジモードでは、アタックを増減して、信号の強度をすばやく効率的に維持できます。

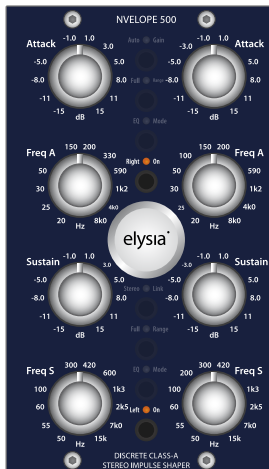
2つのコントローラーを右に回すとアクセントが強くなり、左に回すとスムーズになります。

コンプレッサーのように(デュアルバンドモードとは異なり)、Freq A コントローラーを使用して、アタック処理に対する低周波数の影響を減らします。そのため、「高い周波数=低域が少なくなる」影響がなくなります。

アタック処理によってクリッピング/ディストーションまたはレベルの大きなジャンプが発生した場合は、自動ゲインスイッチをオンにして自動補正を行ってください。



Linked Dual Band



Unlinked Dual Band

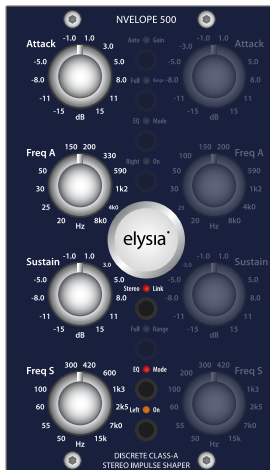
Dual Band Mode



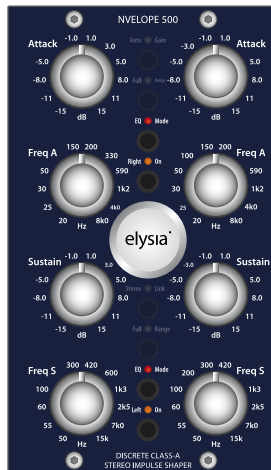
デュアルバンドモードは基本的にフルレンジと同じように機能しますが、アタックコントロールとサステインコントロールを個々の周波数セクターに割り当てることで、より微調整が可能です。

Freq Aコントローラーはアタック処理の開始周波数を設定し、Freq Sコントローラーはサステイン処理の終了周波数を決定します。アタックコントローラーとサステインコントローラーの機能は、フルレンジモードと同じです。

注：通常、デュアルバンド操作では必要ないため、このモードでは自動ゲインは提供されません。



Linked EQ



Unlinked EQ

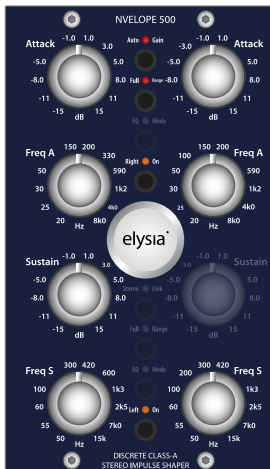
EQ Mode



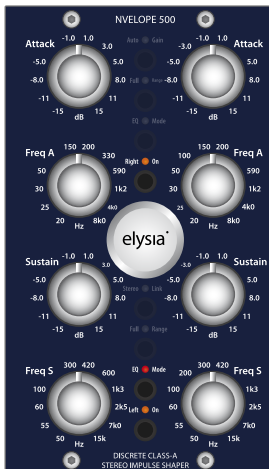
EQモードでは、nvelope 500は高/低シェルフ特性を持つ2バンドイコライザーになり、ここでもステレオマテリアルを処理するためのチャンネルリンクをアクティブにできます。

Freq Aはハイシェルフフィルターの周波数を設定しますが、アタックはこのバンドのカット（左折）またはブースト（右折）の量を決定します。同様に、Freq Sはローシェルフフィルターの周波数を設定し、Sustainはカットまたはブーストの量を決定します。

注意：オートゲインとフルレンジはEQに影響を与えません。



Dual Band (L) & Full Range (R)



EQ (L) & Dual Band (R)

Mixed Mode



nvelope 500がステレオリンクモードでない場合、2つの個別のチャンネルを同時に異なるプロセッサとして使用できます。

たとえば、チャンネルLのデュアルバンドモードで1つの信号を整形し、チャンネルRのフルレンジモードで完全に異なる信号を整形できます。

または、チャンネルLの出力をチャンネルRの入力に接続し、最初にEQで周波数応答を処理してから、いくつかの素敵なデュアルバンドインパルスシェーピングを行うことができます...

ご想像のとおり、可能な組み合わせはたくさんあります！



Technical Details

周波数特性:	<10 Hz - 400 kHz (-3.0 dB)
THD+N @ 0 dBu, 20 Hz - 22 kHz:	0.006 %
THD+N @ +10 dBu, 20 Hz - 22 kHz:	0.01 %
ノイズレベル 20 Hz - 20 kHz (Full Range, EQ):	-90.0 dBu
ノイズレベル 20 Hz - 20 kHz (Dual Band):	-87.0 dBu
ダイナミックレンジ 20 Hz - 22 kHz:	112 dB
最大入力レベル	+21 dBu
最大出力レベル	+21 dBu
入力インピーダンス	10 kOhm
出力インピーダンス	68 Ohm

CE Conformity

CE elysia GmbH, Am Panneschopp 18, 41334 Nettetal, Germany, declares with sole responsibility that this product complies with the following norms and directives:

- 2006/95/EG Low Voltage Directive (formerly 73/23/EWG or 93/68/EWG)
- 89/336/EWG EMC (Electromagnetic Compatibility) Directive
- DIN EN 55103-1 EMC of audio equipment - Emission
- DIN EN 55103-2 EMC of audio equipment - Immunity

This declaration becomes invalid by any unapproved modification of the device.

Nettetal, 01.04.2012 - Ruben Tilgner & Dominik Klößen

Precautions



注意:温度

- API 500シリーズ互換ラックは、お住まいの国の特定の主電源電圧で操作してください。
- ラックフレームヒューズは、同じタイプおよび同じ値のものとのみ交換してください。
- ラックフレームはアースに接続する必要があります。
- 損傷した電源コードは使用しないでください。
- 液体の入った容器をラックの上に置かないでください。
- このデバイスを雨や湿気にさらさないでください。
- このデバイスを水の近くで使用しないでください。
- 資格のあるサービススタッフのみにサービスを紹介してください。



注意:温度

- 操作中にデバイスの表面が熱くなることがあります。
- ラジエーター、ストーブ、その他の熱源などの熱源の近くにこのデバイスを設置しないでください。



注意:接続と取り付け

- パワーアンプの出力には接続しないでください。
- このデバイスを取り付けるときは、力を加えないでください。
- デバイスは、このマニュアルに従ってのみ使用してください。



注意:湿度

- このデバイスを寒い場所から暖かい部屋に移動すると、デバイス内部で結露が発生する可能性があります。
- ユニットの損傷を防ぐため、電源を入れる前に、ユニットが室温になるまで待ってください。



Warranty Info

製品に添付の保証書裏面をご参照ください。

Legal Info

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される可能性があり、製造元による義務または保証とは見なされません。

このドキュメントの品質、適合性、または正確性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。
製造元は、事前の通知なしに、いつでもこのドキュメントおよび/または関連製品の内容を変更する権利を留保します。

製造者は、使用から生じるいかなる種類の損害、またはこの製品またはそのドキュメントを使用できないことに対して責任を負わないものとします。

このドキュメントの情報は著作権で保護されています。すべての権利、技術的な変更、正誤表は留保されます。

このマニュアルのいかなる部分も、著作権者の明確な書面による許可なしに、いかなる形式または目的のためにも複製または送信することはできません。

elysiaおよびnvelopelは、elysia GmbHの登録商標です。
このドキュメントに含まれるその他の製品およびブランド名は、識別目的でのみ使用されます。
このドキュメントで使用されているすべての登録商標、製品名、またはブランド名は、それぞれの所有者に帰属します。



This product is manufactured according to the 2002/95/EC directive. The purpose of this directive of the European Union is the Restriction of Hazardous Substances (RoHS) in electronic equipment in order to protect health and nature. Dispose separately!

elysia GmbH
Am Panneschopp 18
41334 Nettetal
Germany
info@elysia.com

コンチネンタルファーイースト株式会社
〒106-0032東京都港区六本木3-19-22
TEL:03-3583-8451 <http://www.cfe.co.jp/>

Printed in Germany